

食育に関する取り組み

食育とは、食材や給食を作った人たちへの感謝の気持ちを育むことや、食に関する知識、選択する力を習得して健全な食生活を送れるようにすることです。子どもたちの成長を支える学校給食は、栄養を取るだけでなく、食育にとっても欠かせない大切な時間です。ここでは、食育に関する学校給食の最近の取り組みを紹介します。

問い合わせ先 教育総務課（大間々学校給食センター） ☎(46)9491

9月28日にマダイのフライが登場

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、マダイの需要が落ち込んでしまったため、農林水産省の事業を福井県漁業協同組合連合会が関東給食会の協力を得て活用し、敦賀湾内で養殖された「敦賀マダイ」のフライが、市内小・中学校の給食に無償提供されました。



大間々学校給食センター調理風景

(ぐんま・すき焼きの日)

11月29日に地元のしいたけが登場

群馬県では、放射能対策による安全安心をPRし、風評被害の払拭を目的として、「きのこ安全・安心キャンペーン事業」を実施しています。今回は、東毛地区きのこ生産者連絡協議会より検査に合格した、安全な菌床しいたけが、学校給食にすき焼きの食材として無償提供されます。



みどり市どこでも出前講座

学校給食センターの見学・実食



申込・問い合わせ先 社会教育課社会教育係 ☎(76)9846

みどり市どこでも出前講座は、身近な題材の講座をお届けするものです。今回の講座では、大間々学校給食センターの見学と給食の実食を行います。給食センターを見学後、懐かしい学校給食を食べてみませんか。

講座名 学校給食ができるまで

期日 学校給食実施日（土・日曜日、祝日、冬季休暇中を除く）

時間 60分程度

会場 大間々学校給食センター（大間々町大間々519）

対象 市内に在住・在勤・在学する人で構成する、おおむね10人～20人の団体

参加費 244円/人（食材費）

その他

- ・受講を希望する人は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じた上で参加してください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況により、延期または中止とさせていただく場合があります。